

- 問1 663年、日本（倭）は朝鮮半島の南西部に位置していた国を復興させるために大軍を派遣しましたが、中国大陸の唐と朝鮮半島の新羅による連合軍に大敗しました。この出来事を何といいますか。（2024年 香川県公立入試 類似）
1. 刀伊の入寇 2. 白村江の戦い 3. 文永の役 4. 壬申の乱
- 問2 飛鳥時代から奈良時代にかけて確立された、地方を統治するための仕組みについて、中央から派遣された役人である「国司」の説明として最も適切なものはどれか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
1. 鎌倉幕府によって各国の土地管理や治安維持のために派遣され、年貢の徴収を行った。 2. もともとその土地を治めていた有力な豪族が任命され、実質的な徴税実務を世襲で担った。 3. 中央の都から派遣され、一定の任期を持って地方の行政や裁判、軍事を担った。 4. 明治時代に政府から任命され、旧藩の区域を廃して新たに置かれた県の長官となった。
- 問3 645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振るっていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 中大兄皇子 2. 聖徳太子 3. 足利尊氏 4. 大海人皇子
- 問4 7世紀後半、朝鮮半島での「白村江の戦い」において唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）は、大陸からの侵攻に備えて国防を強化しました。この時、西日本の各地に山城を築き、九州の沿岸に「防人」を配置した人物は誰ですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
1. 中大兄皇子 2. 足利義満 3. 聖武天皇 4. 白河上皇
- 問5 8世紀ごろの東アジアの情勢を説明した次の文章において、空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。「中国大陸では（①）が広大な領土を支配しており、その都である長安は国際色豊かな都市として栄えた。また、同時期の朝鮮半島では（②）が半島を統一しており、日本とも活発な交流があった。」（2018年 大分県公立入試 類似）
1. ①：漢、②：百濟 2. ①：隋、②：高句麗 3. ①：宋、②：高麗 4. ①：唐、②：新羅
- 問6 飛鳥時代から現代までの日本の歴史を時系列で並べた際、聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した時期よりも「後」の出来事であり、かつ奈良時代に行われた事柄として正しいものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 安土桃山時代を象徴する、豪華な装飾が施された城郭が各地に築かれたこと 2. 日本で最初の女性天皇として、推古天皇が即位し政治の基盤を整えたこと 3. 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行 4. バブル経済が崩壊し、長期にわたる景気の後退が始まったこと
- 問7 聖徳太子が定めた規範の中で、仏教を篤く敬うこと（三宝を敬うこと）と、天皇の命令への絶対服従を並べて記した政治的な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 律令に基づいた厳しい刑罰を導入する前に、仏教の教えによって人々の心を安定させ、犯罪を減らすため 2. 仏教を日本の国教として定めることで、大陸の隋や唐と同じような宗教国家を作り、外国からの侵略を防ぐため 3. 仏教による道徳心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため 4. 仏教を深く信仰していた蘇我氏の独走を抑えるために、天皇の命令が宗教的な教えよりも優先されることを示すため
- 問8 7世紀後半、天武天皇の時代に鑄造されたとされる日本最古の銅銭の名称を次の中から選びなさい。かつては708年に発行された和同開珎が最古とされていましたが、飛鳥池遺跡の発掘調査などにより、この貨幣の存在が改めて注目されました。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. 和同開珎 2. 無文銀銭 3. 富本銭 4. 皇朝十二銭
- 問9 西暦による歴史の時代区分において、西暦601年から西暦700年までの100年間を指す名称として正しいものを選びなさい。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 7世紀 2. 8世紀 3. 6世紀 4. 5世紀
- 問10 7世紀後半、日本（倭）は百済を支援するために朝鮮半島へ出兵しましたが、白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に大敗しました。その後、唐や新羅による日本への侵攻に備え、九州北部に位置する政治の拠点「大宰府」を守るために築かれた、大規模な土塁と堀による防衛施設を何といいますか。（2022年 岩手県公立入試 類似）
1. 多賀城 2. 烽火 3. 水城 4. 防人
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。 2. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。 3. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。 4. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。
- 問12 663年に起きた白村江の戦いにおいて、日本（倭）の軍が戦った相手となる「連合軍」の組み合わせと、その敗北が日本国内に与えた影響について正しい説明はどれか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 隋と新羅の連合軍に敗れたため、日本はそれまでの外交方針を転換し、聖徳太子を派遣して十七条の憲法を制定することで国家の再建を図った。 2. 唐と新羅の連合軍に敗れたため、日本は唐・新羅による侵攻を恐れ、九州の大宰府北方に水城や山城を築いて防備を固めた。 3. 唐と高句麗の連合軍に敗れたため、日本は大陸との交流を一切断絶し、国内の政治を安定させるために飛鳥から平安京へと都を移した。 4. 新羅と高句麗の連合軍に敗れたため、日本は朝鮮半島への影響力を完全に失い、貴族の私有地を認める墾田永年私財法を制定した。
- 問13 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陸から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何というか答えなさい。（2020年 徳島県公立入試 類似）
1. 天平文化 2. 飛鳥文化 3. 国風文化 4. 禅宗文化
- 問14 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. 百濟 2. 渤海 3. 高麗 4. 新羅

答え合わせ・解説

問1	答え 2 白村江の戦い	660年に唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた百済を復興させるため、日本は大規模な援軍を送りましたが、朝鮮半島の白村江（はくすきのえ）で大敗を喫しました。この敗戦の結果、日本は朝鮮半島における影響力を失い、国内の守りを固める政策へと転換することになります。
問2	答え 3 中央の都から派遣され、一定の任期を持って地方の行政や裁判、軍事を担った。	律令制における地方統治の仕組みでは、中央集権体制を強化するために、最上位の行政単位である「国」に都から国司が派遣された。国司は任期が終われば都に戻る仕組みとなっており、現地の豪族が任命され世襲された「郡司」とは、役割や身分が明確に区別されていた。なお、地頭（鎌倉時代）や守護大名（室町時代）、県令（明治時代）とは、設置された時代や目的が異なる。
問3	答え 1 中大兄皇子	唐（中国）の制度に習い、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指して行われた改革が大化の改新です。中大兄皇子は蘇我入鹿らを排除することで、有力豪族による政治から、天皇が直接統治する仕組みへと転換を図りました。
問4	答え 1 中大兄皇子	663年の白村江の戦いで敗北した後、中大兄皇子は唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。そのため、大宰府を防御するための「水城」や西日本各地の「山城」を築くとともに、東国から集めた農民を「防人」として九州北部の警備にあたらせました。彼は後に天智天皇として即位し、近江大津宮へと遷都しました。
問5	答え 4 ①：唐、②：新羅	7世紀後半、唐は朝鮮半島の新羅と結んで百済と高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐の勢力を半島から退けて統一を果たします。8世紀は、中国では唐が全盛期を迎え、朝鮮半島では統一新羅が安定した統治を行っていた時期に当たります。
問6	答え 3 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行	十七条の憲法は7世紀初頭の飛鳥時代に制定されました。これに対し、墾田永年私財法は8世紀（743年）の奈良時代に制定された法令であり、時代順として後に位置します。推古天皇の即位は憲法制定の前提となる出来事であり、城郭の建築やバブル崩壊はそれよりもさらに数百年から千年以上後の出来事です。当時の社会状況の変化を時代区分ごとに理解することが重要です。
問7	答え 3 仏教による道德心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため	当時の日本は豪族同士の勢力争いが激しく、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、仏教という普遍的な教を敬うことで個人の道德観を養わせると同時に、天皇を国全体の最高権威として位置づけることで、私利私欲に走る豪族たちを統制し、天皇中心の中央集権体制の基礎を築こうとしました。
問8	答え 3 富本銭	奈良県の飛鳥池遺跡などで大量に出土したことにより、それまで最古の貨幣と考えられていた和同開珎（708年発行）よりも古い683年頃に、天武天皇によってつくられたことが判明しました。表面には「富」と「本」の文字が記されています。当時の律令国家としての体制を整える一環として、また呪術的な目的も含めて鑄造されたと考えられています。
問9	答え 1 7世紀	歴史上の世紀の数え方は、1世紀を1年から100年までと定義します。これに従うと、601年から700年までの期間は7番目の100年間となるため、7世紀と呼ばれます。西暦の百の位の数字に1を足すと、その年が何世紀かがわかります。
問10	答え 3 水城	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた倭国は、大陸からの報復による侵攻を強く警戒しました。九州の政治・外交の要所であった大宰府を防御するため、その北側に全長約1.2km、高さ約10mにも及ぶ巨大な土塁を築き、博多湾側には水を湛えた堀を設けました。これを水城と呼び、日本の古代国家における防衛体制の整備を象徴する遺構となっています。
問11	答え 4 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。	聖徳太子は冠位十二階や十七条の憲法を制定し、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を図っていました。遣隋使の派遣は、その改革のモデルとなる中国の高度な政治制度や、国家の精神的支柱としての仏教を学ぶための重要な外交手段でした。選択肢にある菅原道真は遣唐使の停止を提言した人物であり、阿倍仲麻呂は遣唐使として渡った人物なので、時代や背景が異なります。
問12	答え 2 唐と新羅の連合軍に敗れたため、日本は唐・新羅による侵攻を恐れ、九州の大宰府北方に水城や山城を築いて防備を固めた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた日本は、大陸からの報復や侵攻を強く警戒するようになりました。そのため、対外防衛の拠点である大宰府（福岡県）を守るために水城（堤防状の防衛施設）や大野城などの山城を築き、さらに西日本の各地に「防人（さきもり）」を配置して国防を強化しました。この危機感、日本が中央集権的な国家体制を急ぐ要因の一つとなりました。
問13	答え 2 飛鳥文化	朝鮮半島（百済など）から仏教が伝来し、聖徳太子や蘇我氏の保護を受けて発展した日本最古の仏教文化です。法隆寺の西院伽藍や、広隆寺の弥勒菩薩像などにその特徴を見ることができます。同時期の中国（南北朝・隋）や朝鮮半島の文化の影響を色濃く反映しているのが特徴です。
問14	答え 1 百済	663年の白村江の戦いで日本（倭）と百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に敗北した後、日本は大陸からの報復的な侵攻を恐れて国防を強化しました。この際、日本に亡命してきた百済の人々が持つ高度な技術が、水城や大野城といった堅固な防衛施設の築城に活用されました。